

2015/11/30-12/6 デボーションガイド 「ユースマナ」 詩篇 27:4 私は一つのことを主に願った。 私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。	2015/11/30(月) 詩篇 82 篇 今日の箇所は、神様の裁きについてです。 「裁き」と聞くと、ちょっと怖いイメージを抱く人もいるかもしれないね。でも、正しい裁きがされることはとても大事なことなんだ。自分は悪いことをしていないのに、誤解されて怒られたり罰を受けたりしたことはあるだろうか？ 今も昔も、この世では多くの間違っただ裁きによって、たくさんの人が傷ついたり痛んでいる。そして多くの場合、その不正な裁きで苦しむのは、弱い者や貧しい者だった。 ・私たちは本当に正しく裁かれる方を恐れなければならないし、この方に信頼し委ねなければならない。この地を知恵と力と愛で治められる神様に祈ろう。 ・イエス様も不正な裁判で十字架に架けられた。だけど、父なる神様はそれをすべての人のための救いとなさった。そこに神様のさばきの不思議さと偉大さがある。	2015/12/1(火) 詩篇 83 篇 誰でも、人間関係の中で心を痛み苦しむことがあります。アサフは、その時心からの叫びを注ぎ出して祈っています。神様と親しいからこそその叫びです！神様は絶対に私達を忘れたりしないで、祈りに答え、神様こそ本当の神様であることを教えてください！ (18)だからこそ、アサフは相手も神様を知ることを願って祈っています (16)家族や友達との関係で嫌だなと思うことがありますか？ 心からの叫びを祈ろう！！そして相手の祝福のために祈ろう！！	2015/12/2(水) 詩篇 84 篇 「なんと幸いなことでしょう。あなたを信頼するその人は。」 万軍の主である神様は、誰よりも 何よりも 私たちを愛してくださっている。私たちを造ってくださった主は、私たちのすべてを知っていてくださり、喜びで満たし、力を与え、良いものを備えてくださる。 私たちも、愛してくださる主を慕い求めて行こう。 万軍の主なる神様、あなたと歩む幸いを、今日、私たちに見せてください！
2015/12/3(木) 詩篇 85 篇 ■今日の箇所にはイスラエルの民に与えられた神の赦しと顧み（補修からの帰還）への感謝が歌われています。10節にある「恵みとまこととは、互いに出会い、義と平和とは、互いに口づけしています。」がその感謝がよく表れていると言えるでしょう。 ■7節にある「あなたの恵み」、「あなたの救い」は私たちに与えられているのでしょうか？私たちは主の恵みと救いを受け取っているのでしょうか？すでに祈られたこの祈りは、すでにイエス・キリストによって成就されています。これが事実であり、歴史です。 ■その事実、歴史の上に私たちは正しく生きているのでしょうか。先人の祈り、そしてイエス・キリストの救いをしっかり見つめて、生きる一日にしましょう。	2015/12/4(金) ホセア 1 章 ホセアは不貞の妻ゴメルとの結婚に導かれます。ホセアは愛なる神を、ゴメルは神様に対して不忠実なイスラエルを、示しています。 ホセアとゴメルの子イズレエルとは、エフーがアハブ派を虐殺した場所の名前であり、神様がイスラエルを滅ぼすことを宣告しています。 ロ・ルハマ、ロ・アミは不倫の子で、それぞれ「愛されない子」「わたしの民ではない」との意味であり、神様とイスラエルの関係が示されています。 このように神様とイスラエルとの悲慘な関係が語られますが、しかし、神様は回復の約束を語られます！ 私たちはゴメルと同じ罪人です。しかし、神様は大きな愛ゆえに、どんな罪人であろうとも、救いと回復を用意されました。今、目を閉じ、手を広げ、神様の愛を全身で受け取ろう！あなたは愛されている！今日、何があってもあなたは大きな神様の愛の中にいます。安心して出て行こう！	2015/12/5(土) ホセア 2 章 今日は姦淫の妻への夫のことが書かれている箇所だね。ここでの姦淫の妻はイスラエル、夫は神様のこと。 神様はイスラエルが恋人の跡を追う＝偶像礼拝をしていたこと、神様が与えていた金銀を偶像に捧げてを指摘し、それに気づかせるために必要なものを奪う。それでも神様は愛をもって語り続けてくださっている。神様が彼らを取り扱うことで、イスラエルは愛されない者が愛される者になり、主の民となる。 神様は私たち一人ひとりに対して情熱を注がれる方だ。その主の熱心をいつも覚えよう！ 今日「あなたこそ私の神です」と告白していこう！	2015/12/6(日) ホセア 3 章 ホセアは主の命令に従って、奴隷状態にあった妻を買い取った。彼女を買い取ることはホセアにとって大きな負担だった。そしてホセアは妻との関係回復のために長い時間をかけた。これ命令の目的は、裏切り者イスラエルへの主の愛が明らかにしようとするものであった。 ホセアと彼の妻が夫婦関係を回復するのに長い時間をかけたように、主はイスラエルとの関係回復に長い期間を取られた。それは彼らが主を恐れる者へと整えるためであった。 救われた者として喜んで主に仕えよう！！

